



ヨルダン

アンマン

2016年9月～2019年9月滞在

(2020年記)

### 基本情報

気温	同時期の東京とほぼ同じだが、年間を通して雨はほとんど降らず乾燥している
緊急電話	警察 911 救急・消防 911
電圧	240V プラグは C、B、BF、A と C 共用タイプなども見られる
水	飲用には宅配のミネラルウォーターを使用

### 買い物

日本の物	家電製品は一部あるがほとんどない 常温、冷凍の食品は業者用の問屋で個人でも購入が可能
食料品	野菜、果物は地物・輸入品共に豊富 専門店の肉は羊、牛、鳥があり全て美味しく豚肉も入手可能 アジアンスーパー、韓国食材店、週1回開店の中華ショップで和食の食材はだいたい揃えることが可能
日用雑貨	ヨーロッパ、近隣諸国からの輸入品が多く手に入る
学用品	入手可能な物もあるが、日本から持参したほうが確実
衣類	輸入品はサイズ種類共に豊富だが割高になるので、靴下や下着などは日本製を持参するほうが無難

### 交通

公共の交通	鉄道はないのでタクシーやウーバーを利用 運転手付きの社用車を利用する人もいる
運転免許	日本の運転免許証、大使館で発行される書き換え証明書・滞在証明書を持参し、免許センターで手続きをする

### 住居

住宅事情	低層4階建てくらいのマンションが多い 床は石が多く、冬は寒いが広い
日本人が多く住むエリア	アンマン市内、4.5.6 サークル付近 アブドゥーン、ジャバールアンマン
使用者	1週間に数日、通いのメイドを雇用する人が多い 日本人は、フィリピン人を雇う人が多い
治安	比較的良い
セキュリティ	日中はウォーキングしている人もいるが、歩道は整備されていない 地上階には住まない方が無難

すり、置き引きなどはあまりないが、用心はした方が良い

## 教育

習い事	インターナショナルスクールでは、放課後、専門の先生に楽器やスポーツを習うことができる
アドバイス	日本人学校はなく、アメリカンスクールかブリティッシュスクールに通わせる家庭が多いです。

## 病院

医療事情	医療水準は割合高いが、歯科医は先生によって治療の質がかなり異なる
日本人医師	いない
薬品	薬局が至る所にあるが、薬は日本に比べて強いといわれる所以、常備薬は日本から持参したほうがよい

## 交流

日本人	日本人会には年1回の運動会と懇親会がある 子どもが補習校に行くと交流が多くなる
現地の人	日本顛真の方が多いので、習い事、ご近所付き合いを通して交流は可能 親切な人が多い
駐在外国人	子どもがインターナショナルスクールに通うと交流が増える ボランティア活動をするサークルもある

## 伝えたいこと

心配していた治安は思いの外問題がありませんでした。生活すると、親日派の国だということを実感しました。日本製のものはほとんどありませんが、欧洲も近く、高品質な輸入品が多数あるので生活には不自由しません。イスラム教の国ですが、ヘジャブと呼ばれるスカーフを頭に巻いていない女性も多く、また、ワインを生産していることから飲酒に対しても寛容、自由な雰囲気があります。とはいえ、イスラム教の文化を尊重して生活することが大切だと思います。ヨルダンには四季があり、アンマンは海拔 900 メートルにある為、真夏でも35°Cには達しません。冬は日本と同じく寒くなりますが、それ以外、ほぼ毎日青空、爽やかなアンマンの気候が今でも恋しく思い出されます。死海やペトラ遺跡、ワディラムという自然豊かな観光地もあり、家族で小旅行も楽しめます。